



2018年9月1日
第633号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 大橋 裕子
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

学校法人 天王寺学館 残業代15分未済の切り捨ては違法!

居直る法人に 大阪南労働基準監督署がついに是正勧告!!

残業代を15分単位で支払い、15分未済は切り捨てていた学校法人天王寺学館に対し、去る8月1日、大阪南労働基準監督署より是正勧告が行われました。



8月30日に開催された団交の様子

この間組合は、団交で繰り返し改善を求めてきましたが、久井通義校長ら法人は、「世間には15分単位で賃金を支払っている所など、たくさんある」「『切り捨て』という一つの計算方法だ」などと強弁。「監督署に申告行くのは自由です」と堂々と開き直るので、組合員らは7月19日に監督署に赴き申告を行いました。

8月21日、監督署から「8月1日、法人に是正勧告を行った」との報告がありました。監督署の是正勧告に対し法人は、「問題があることは認識していた」と回答し、「2年間遡及して未払い賃金を支払うように」という指導に対しても、対立する意見を述べる

ことはなかったとのことです。監督署は、改善の期日を9月未までと法人に通告しました。

『勧告に従う』との明言避ける法人 これを受け組合は、今後の改善策を確認するため、8月30日に団交を開催しました。「是正勧告には従うのか」という質問に対し法人は、「従わないとは言っていない」と回答。「では従うということか」と尋ねるとだんまりを決め込むので一向に話が進みません。法人は「監督署と調整を図っている最中」として、回答を避け続けました。組合

からは、「調整を図るのは監督署ではなく労働者。法人はまず、労働者に謝罪すべき立場だ。どっちを向いているのか」との怒りの声が噴出しました。のりくらりと逃げ道を探っている法人に、確実に是正勧告を実行させるべく、組合は追及の手を緩めません!
大橋裕子(執行委員長)

当面の日程

- 9月5日(水)10時
大阪地裁809号法廷 岸和田支援学校非常勤看護師パウハラ解雇撤回訴訟第4回口頭弁論
- 9月6日(木)18時半
新町北公園
戦争あかん!ロックアクション
- 9月9日(日)14時 エルおおさか606号室 グループZAZA連続講座第3回 中村尚徳さん(朝日新聞)講演「なぜ『反骨』を書くのか、その今日的意義を考える」
- 9月21日(金)18時半
大阪高裁74号法廷 「君が代」不起立集団訴訟控訴審(終了後、エル大阪南館734号室にて集会)

吉村大阪市長 「学力テストの結果を 教員の勤勉手当に反映」

大阪市は「学テあって、教育なし」になるのか?

大阪市の教員もなめられたものだ。

8月2日、大阪市の吉村市長は、全国学力テストの結果が政令指定都市で最下位だったことを受けて、平均正答率の数値目標を学校ごとに設定し、その結果を人事評価に反映させることを記者会見で表明しました。具体的には、数値目標を達成した学校に対しては教員の勤勉手当及び校長戦略予算を増額させ、未達成の場合は逆に減額させるというものです。

な学力を分析し、教育政策の成果や課題の検証、改善に役立つものであり、把握できるのは学力や学校教育活動の一側面である」と語っています。また、学力調査の専門会議座長の耳塚寛明お茶の水女子大学教授は「調査の趣旨を逸脱しており、学力の実態を把握する調査の役割がゆがめられる。結果には家庭や地域などの様々な要因が絡んでいる。ボーナスで教員のやる気が高まるとは考えられない。教員評価に直接使うのは無謀だ」とも述べています。

たり前でしょう、少し考えれば分かることです。点数主義はいびつな学校現場を生み出します。既に歴史が証明しています。

1961年から64年にかけて実施された「全国学力一斉テスト」では、平均点を上げるために児童・生徒の人権を無視した行為が行われました。私たちの先輩教員がよく語ってくれたことです。まさに「学テあって、教育なし」。吉村市長は歴史から何も学んでいません。

最下位、大いに結構ではないか。それだけ行政のトップとして、すべきことがたくさんあるということです。市長としてやりがいがあるというものでしょう。勤勉手当や校

長戦略予算に学テを反映させるような姑息なことをするのではなく、大(だい)大阪市として児童・生徒の生活環境を改善するために大幅に教育予算を増額すべき時ではないでしょうか。

組合は8月7日に発言の撤回を求めて抗議書を手交しました。9月にも総合教育会議が開催されます。

大阪市の若手教員たちよ、声をあげよう!子どもたちにあきらめることを君は教えないはずだ!

澤村幸雄(大阪支部)

各方面から懸念の声続出!
吉村市長の表明に対して、林芳正文部科学大臣ですら8月3日の記者会見で、「全国学力・学習状況調査は全国的

教育現場を荒廃させる
点数至上主義
学力テスト推進派すら危惧している吉村市長の発言。当

2018 夏の取り組み 全学労組・全学労連 全国交流集会 in 静岡 EWAセミナー2018 開催!!

酷暑が続いた今年の夏。そんな中、様々な取り組みが行われました。

【静岡で全学労組・全学労連 全国交流集会開催!】

8月4～5日の2日間にわたり、全学労組・全学労連共同の全国交流集会が静岡県で開催されました。

1日目は、「働き方改革」にどう立ち向かうのか?」をテーマにシンポジウムが行なわれました。共同開催の色が出たシンポジウムで、事務職員の立場から、教員の労働時間管理の姿勢が厳しく問われ



今年は静岡で開催 全国から集まった参加者

る場面もありました。話題は「会計年度任用職員制度」へと広がりを見せ、交渉のポイントについても交流しました。

大阪の主務教諭制度について報告
分科会は3つのテーマで行

われました。「大阪市主務教諭制度と新たな人事考課制度」と題した分科会では、大阪支部の澤村組合員がレポートを行いました。大都市で始まる悪しき制度は、地方へと拡がることが多いので、他人事として聞いてはいけなさと緊張感の走った分科会でした。

「どこまで逸脱するのか、横浜市教委の裁量権、霧ヶ丘中学校冤罪事件の分析」と題した分科会では、冤罪事件による不当処分を人事委員会で撤回されるまでのたたかいについて報告がありました。人事委員会申し立てから約4年、

管理職の予断と偏見に満ちた報告による処分が、人事委員会の採決でことごとく否定されるという痛恨な結果に終わり、本来の人事委員会のあるべき姿を見たと思いました。独立した組織として丁寧な調査、判断がなされていました。このときの人事委員会委員長は、退職前の最後のお仕事であったとの落ちはつくのですが、見事なものでした。

各地の具体的な取り組みに触れることが出来た交流集会

高田晴美(副執行委員長)

EWAセミナー2018 大盛況!

100名を越す参加者ととともに改めて考えた「日の丸・君が代」と教育について

演劇『振って、振られて』&トークセッション



8月26日に開催されたEWAセミナーは、例年と趣向を変え、演劇とトークセッションの組み合わせ。市民にも参加を呼びかけ、会場は、ほぼ満席になりました。

『大切なのはひとです。国ではなくひとです』前半の演劇『振って、振られて』(くるみざわしん作)は、憲法改正が決まった日に、憲法改悪に反対する教授と助手、賛成する教授の三人

が織りなす舞台。三者が紋切り型で滑稽なやりとりをしている中で、それぞれが、自分のなかにある「人を見下す快感」、「残虐さ」、「権力の傘下のあやうさ」に気づき、その気づきからそれぞれが新たな動きを始めていく物語です。「日の丸」をやたらと振る舞台、同時に、「日の丸」を何回も破ることのできる舞台が、私たちに対話を求めてきました。

会場からどよめきがおきた
トークセッション
後半のトークセッションでは、くるみざわしんさん、

「君が代」不起立処分とたたかっている辻谷博子組合員と増田俊道組合員、フォトグラファーで大阪府内の小学校に通う子どもをもつ芋縄なつきさん、保育士の朴亜悠さんに登壇していただき、それぞれの立場から、「日の丸」の思いつき、教育現場の現状をどう見ているかなどを語っていただきました。

『振って振られて』の脚本を書くキッカケのひとつが「君が代」不起立処分と闘う教育合同組合員らの姿だったことなど、知られざるエピソードがくるみざわしんから語られました。

会場に衝撃を与えたのは、保護者が見た、現実の大阪の小学校の報告でした。子どもたちが“自主的”に同調圧力を形成させられていくさ

まは、「日の丸・君が代」の問題が、シンボルとしての問題だけでなく、教育と子どもたちが多様性を失うに到ってしまう、そういう問題だったことが見えた瞬間だった。

しかし、学校だけでなく社会全体が同化と均一化を私たちに求め、息苦しさを感ずる多様性と真反対の現状に対して、もういちど私たちはことばを取り戻し、隣の人と対話し、できることからまた動き出そう、そう思わせてくれる集会となりました。

五十里元子(執行委員)



4月に新学期が始まり5月の連休で一息はつけるものの、6月7月に無理して登校(出勤)し8月に夏休み 9月からの

2学期は気が遠くなる長さ おまけに寒くなる季節で気が滅入る そりゃ登校(出勤)は嫌になる 「授業数確保」の夏休み短縮は「自殺者増加」に直結する